



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区



2021-2022年度 7月号



写真:石田順一ガバナーと公式訪問カー



写真:RI会長シェカール・メータご夫妻と
石田順一ガバナー夫妻

Contents

国際ロータリー会長メッセージ	2	ガバナー公式訪問日程	16
ガバナーメッセージ	5	地区内・外主要行事の予定表	17
ガバナー補佐就任挨拶	7	コーディネーターニュース	17・18
RID2550地区組織図	12	クラブ例会・事務所一覧	19
地区資金予算書	14	直前ガバナーへの謝辞	20
送金カレンダー	15		



Serve to Change Lives
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度会長
2021-22RI President

シェカール・メータ

Calcutta-Mahanagarロータリークラブ所属
西ベンガル州(インド)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ナマステ。ロータリーの世界各地から集まった「Movers and Shakers」の皆さん、こんにちは。地区ガバナーエレクトである皆さんはMovers(動かす人たち)であり、私は「シェカール」です。

今日、皆さんは、奉仕とリーダーシップの旅路において、とても大切な一歩を踏み出します。これからの17カ月間は、皆さんの人生で最も素晴らしく、実りあるときとなるでしょう。この期間を、人生で最も充実したときとすることができます。この期間には、私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かってくださるようお願いします。皆さんは、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようロータリアンにインスピレーションを与えてやる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるという目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすという目標です。この旅路において、皆さんは、地区のロータリアンおよびローターアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。これは、私たちに導く信念です。「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、これからの17カ月間でこれを変えようではありませんか。変革者であるガバナーの皆さんには、会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪れています。過去17年間にロータリーが達成できなかったことを、今後17カ月間に達成することにチャレンジしてください。

そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれません。「夢は大きく」と私からお願いするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショーの次の言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいます。しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える」

ですから皆さん、夢は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです。この信じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。その答えは、「each one, bring one」、つまり、今後17カ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いしますことです。皆さんがすべきことは、17カ月間にたった一人を入会させるよう、地区のすべてのロータリアンにお願いするだけです。皆さんご自身が模範を示し、また地区内のクラブ会長にも模範を示してもらうことで、これを確実にできます。全クラブのロータリアンがこれを実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変えることになるのです。

ガバナーエレクトの皆さん、私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。私は常に、「超私の奉仕」というロータ

リーの標語に大きな感銘を受けてきました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。私にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。これについて、ロータリーでの私自身の体験をご紹介しますと思います。

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が、手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。手を引っ張ってもらい、相手の力を測るのです。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、這うことしかできなかったのです。私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を提供し、教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。

ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました。奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、「奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という信条を持つようになりました。模範的な賃借人でありたいと思っています。皆さんも、それぞれが奉仕の機会を見出されたことでしょう。目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人に食べ物を与え、ホームレスの人に住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませんが、大規模なプロジェクトだったかもしれません。奉仕を定義するのは、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。

ガンディーはかつて、電車に乗ろうとしたときに、電車が動きだして片方のスリッパを落としてしまいました。ガンディーはとっさに、スリッパが落ちたところをめがけて、もう片方のスリッパを投げました。彼と一緒に旅行していた友人は、こう尋ねました。「なぜ投げたんだい?」。ガンディーはこう答えました。「あのスリッパを誰かが見つけるだろう。片方だけでは役に立たないから、もう片方も投げたのだよ」。これはささやかな奉仕の行為ですが、その姿勢は見事だと思います。私たちは、自分よりも先に人のことを考える心構えがあるでしょうか。ロータリアンである私たちにとって大切なのは、それだけです。

ロータリアンが過去35年間にポリオ根絶や人類への奉仕のために数十億ドルもの資金や多大なボランティア時間を費やしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。何千という学校や何百という病院を整え、干上がった村に水を提供し、家庭にトイレをつくって尊厳を取り戻し、何万という子どもの心臓手術を通じて命という贈り物をしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。ロータリアンが奉仕し続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願いからです。ネパールでのあるプロジェクトでは、数千人もの人生がより豊かになり、アフリカでの家族保健プログラムと、ハイチでの水プロジェクトでは、それぞれ一千万人以上の人生がより豊かになりました。私の母国インドでは、識字と教育のT-E-A-C-Hプログラムで、何百万もの子どもの人生にインパクトを与えました。

皆さんの多くが、このような奉仕プロジェクトで大切な役割を担われ、人びとの人生をより豊かにしてきたでしょう。奉仕のニーズがあるからこそ、皆さんは奉仕してこられたのです。今日、奉仕のニーズはさらに高まり、明白になっています。ですから、変革者であるガバナーの皆さん、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いいたします。この理由から、2021-22年度の私たちのテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)といたします。

皆さんご自身が模範を示し、持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクターの参加意欲を引き出してください。ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を組み、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください。ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもっとよくなったと感じるはずです。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の一人であるヴィヴェーカーナンダは、こう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに、次のような見事な言

葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になりなさい。ただし、与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただきますか』とお願いする気持ちになりなさい」

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。

奉仕イニシアチブに取りかかるにあたり、次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーのDEI(多様性、公平さ、開放性)に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。

「もっと行動し、もっと成長する」ための会長イニシアチブが計画されています。世界各地で、7つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議が開催されます。また、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが、ロータリアンとローターアクター、そして一般市民の参加を促すための「ロータリー奉仕デー」を実施することができます。ご自宅に最も近い場所で開催される会長主催会議にご参加いただくとともに、「ロータリー奉仕デー」に参加するよう全クラブに呼びかけてください。ローターアクターとインターアクターにも参加してもらいましょう。ロータリークラブによる何千もの「ロータリー奉仕デー」を通じて、ロータリーの活動を世界に紹介しようではありませんか。

変革者であるガバナーの皆さん、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトに取り組み、かつ会員数を史上初めて130万人にするという課題は、チャレンジに満ちています。このチャレンジに、皆さんの意欲は駆り立てられるでしょう。挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港に在ることではありません。海に出てこそ、船の目的が成就されます。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。

最後に、テーマについて私が書いた詩をご紹介します。と思います。

授けられた最大の贈り物は

誰かの人生に触れる力

変える力

違いをもたらす力

めぐりゆく命の中で

手を、心を、魂を

差し伸べるなら

魔法が起る

歯車が回りだす...

ともに歯車を回そう

全人類の繁栄のために私たちに力と魔法がある

奉仕しよう... みんなの人生を豊かにするために...

皆さんがどこでこの演説をお聞きになっても、ここで皆さんに、胸に手を当て、私と一緒に宣誓していただきたいと思います:

「私たちに、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」

変革者の皆さん、準備は整っていますか?大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか?奉仕する準備ができていますか?みんなの人生を豊かにする準備ができていますか?

私は準備ができています。皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。

～未来のクラブを描きましょう～

国際ロータリー第2550地区
2021-22年度ガバナー

いし だ じゅん いち
石田 順一
(真岡ロータリークラブ)



COVID-19の世界的なパンデミックが続く中、今年度の国際協議会はフロリダ州オーランドから史上初のネット空間、バーチャル国際協議会の開催となりました。

次期RI会長シェカール・メータ氏は自身の奉仕プロジェクトへの参加を通じて人間として成長したことに触れ、ほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べ「人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方」なぜなら、「その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分人生を豊かにできるから…」と、メータ会長エレクトはこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を呼びかけました。

また、全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいで、2022年7月1日までに130万人に増やすため「each one, bring one」(みんなが一人を入会させよう)は、今後17ヶ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求められました。

もう一つの焦点は、ロータリーの活動を世界に知らせる「ロータリー奉仕デー」を実施し、ロータリーの活動を世界に示し、ロータリアン一人一人がロータリーのブランド大使となるよう奨励されました。

そして、次年度のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と発表されました。

ロータリーの創設はアルカボネが暗躍する荒んだシカゴにありました。そして、われわれの倫理指針たる「四つのテスト」が誕生したのは大恐慌に喘ぐ米国にあったのです。困難な時にこそ、変革が生まれ国際ロータリーが発展してきたことを忘れてはなりません。

Resilience(困難から回復)していくために、beforeコロナを懐かしみ目指すことなく、われわれが漠然と5年後、10年後にこうなると思う未来の社会を、ロータリーの揺るぎのない中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)を据えながら、今ここに実現させる努力が必要です。

ロータリーは、さまざまな人が参加できる開放的な組織、すべての人に公平で、善意を築き、社会に役だつ組織づくりに努めなくてはなりません。

増強は最大の社会貢献である等、良いアイデアを皆様と共に考えていきたいと思えます。ロータリーは慈善団体ではありません。ロータリーは親睦とServiceとHelpful Activity(役に立つ行為)を以って人間活動の根本観念にしたいという運動です。

特殊な環境下ですが、各クラブは「今までの蓄積した特出したコンテンツ」をお持ちだと思います。その中でできるサービス工夫を行い、共にロータリアンである喜びと、誇りをもって皆さんの隣にいる大事な仲間たちと一緒に奉仕の喜びと感動を感じとれる一年としたいと考えています。

RI会長テーマを念頭に置いて、今一度、各クラブの皆様相互理解の上、ロータリーを発展できますようご協力をお願い申し上げます。

〈 2021-22年度 地区方針・目標 〉

【地区方針】

- ◆RIテーマおよびロータリーの目標の達成を目指して、ロータリー活動を推進する。
- ◆全てのロータリー活動が、リーダーとしての「人材育成」となることに重点をおく。
- ◆ロータリーのプログラムを積極的に支援し、ロータリーと地域社会、世界とのつながりを深める。
- ◆ロータリアンがクラブ並びにRIや地区への関心を高め、多くの会員の参画を求める。
- ◆持続可能な発展に資する奉仕活動の推進。(ロータリー奉仕デーの実施)
- ◆オンライン会合のサポート

【目 標】

1.参加者の基盤を広げましょう

* 会員増強

(各クラブ純増2名を目指しましょう。会員を増やすことも大切ですが、退会者を出さないことがさらに重要です。
(みんなが一人を入会させよう)

* RLI・RYLAへの会員の理解を深め積極的参加の促進

* インターアクトクラブ活動を支援し、良きリーダーとなるよう育成する

* 青少年交換プログラムへの支援、協力

2.IT活用の推進

* 「My Rotaryへの登録を促進」(現在38%の登録者数を70%に努力する)

(My Rotaryには、多くの情報が提供されています。会員の皆様には、ぜひ登録していただき、活用をおねがいたします。)

* 「ロータリークラブセントラルへの全クラブ登録を促進」

3.公共イメージの向上

* 「ロータリー奉仕デー」を意識した活動及び広報(SNSの活用)支援

* ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。

* 地区SNSにより活動を内外に発信する。

4.クラブ戦略計画の策定を推奨する

私たちが所属するクラブの現状をまず把握してください。会員の年齢構成、女性会員の割合、活画の評価などです。5年後、どのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであります。

この問題に必要なのが、クラブの戦略計画です。私達は、現在を、そして未来の姿を考えて行動を起こそうではありませんか。

5.行動計画・ビジョン声明策定の奨励

* 組織、会員、プロジェクト支援、さまざまな機会、ロータリーのビジョンを支える活動を導くことで、過去を称えるときにも未来を受け入れることを目的とする。

* ロータリー活動に参加できる機会の提供

「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」

6.ロータリー財団の活用と支援

* 地区補助金を活用した地域社会への貢献

* グローバル補助金を活用した国際社会への貢献

* 公平性の高い財団寄付の推進

「年次基金一人年間150ドル」の達成

7.ポリオ根絶活動の推進

* ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。

「一人年間30ドル」の寄付の達成

8.米山記念奨学会の支援

* 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図るようにする。

「一人年間19,000円」の寄付

9.RI会長賞受賞への挑戦の推奨

* クラブセントラル活用を促進し、RI会長賞受賞を支援する

10.各種集会の基本的考え方

2020-21年度開催する次年度を対象とする聞く行事、2021-22年度内開催する地区行事は、地域新興感染症発生状況を眺めながら、三密を回避するために、オンライン、ないしはハイブリット型(人数制限した会場とオンラインの併用)を模索する。

また、各クラブ例会のオンライン化、ハイブリット化を模索していただきたい。オンライン参加は例会出席の大きな機会を与えてくれるに違いありません。

ガバナー公式訪問に関しては、原則、各クラブ入りを予定するが、感染症発生状況、三密回避できない場合には出席人数の制限又はオンライン化も検討する。

第1・第2グループガバナー補佐就任あいさつ



第1グループガバナー補佐
富田 勤
(西那須野ロータリークラブ)

大田原ロータリークラブ
黒磯ロータリークラブ
西那須野ロータリークラブ
黒羽ロータリークラブ
大田原中央ロータリークラブ

本年度(2021-22年度)のガバナー補佐に指名されました富田勤です。

この大役を果たすことが出来ますかどうか疑問ですが、この一年間を頑張って、石田ガバナーの一助として、責務を果たしたいと考えます。

ロータリーの創設は20世紀初頭シカゴに誕生しました。今、全世界はCOVID-19にいじめられています。これは形は違いますが、今までの生活態度に罪と反省を促しているものと考えます。

この難しい時期、石田ガバナーの舵取りは例年よりはるかに大変と考え、補佐としての役割に気を引き締めています。

日本のロータリーのあり方にも、将来を見つめての地区方針・目標「未来のクラブを描きましょう」とロータリーの活動を反省し、各ロータリークラブが5年後、10年後の姿を描き、目標を持ち、その目標に向かって邁進することを目指しています。

RI会長シェカール・メータ氏は「each one,bring one」と

述べ、過去20年間会員数は横ばいで増えていないことから、このような事を述べ、この時期を考えるとむしろ減らすことを危惧したと思います。このCOVID-19の時期、会員を増やすことは難しく、むしろ減らさない様努力したいと考えています。

その活動の中身の充実とその策定のプロパガンダがむしろ会員の増強に寄与するとの考えから、ロータリー財団の活用を力を入れ、グローバルな活動が必要と考えます。

これは石田年度の強力な目標の一つですので、是非第一グループ、各グループはこの点に力を入れていただきたいと考えています。又、これが会員の増強の一助となるはずで、これからは若い人にとってはグローバルであることが魅力の要素です。

どうぞ、石田年度の地区方針・目標を達成したいと努力しますので、良い策定には地区を挙げて協力し、石田氏のパイプとしての補佐の役割を果たすべく頑張っていきたいと老体、病体に鞭打ち努力しますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



第2グループガバナー補佐
大村 一夫
(氏家ロータリークラブ)

鳥山ロータリークラブ
氏家ロータリークラブ
矢板ロータリークラブ
馬頭小川ロータリークラブ
高根沢ロータリークラブ

この度、2021～2022年度、石田順一ガバナー年度第二グループのガバナー補佐を拝命いたしました、氏家ロータリークラブの大村一夫と申します。

浅学非才の身ながらもご指名をお受けいたしました以上は、与えられた任務を全うすべく学び、努めて参りますのでよろしくお願い致します。

2021～2022年度国際ロータリーのシェカール・メータ会長は、「SERVE TO CHANGE LIVES」のテーマを掲げられています。

日本語約は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。

「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」とも話されておられます。

石田ガバナーは、RIテーマの下で2021～2022の地区テーマの「未来のクラブを描きましょう」を掲げられました。そして「全てのロータリー活動が、リーダーとしての人材育成とな

ること」等6つの地区方針をお示しになりました。

その方針の「10の具体的な目標」の第一目標に「参加者の基盤を広げましょう」とされ、具体的には各クラブ純増2名の会員増強のために退会者を出さない重要性を訴えられています。また「IT活用の推進」を第二目標とされ、具体的には現在の「My Rotaryへの登録者数38%を70%に高める」とこと「ロータリークラブセントラルへの全クラブ登録の推進」を打ち出されています。第三目標は「公共イメージの向上」です。第四目標の「クラブ戦略計画の策定を推奨」と、第五目標「行動計画・ビジョン策定の奨励」は5年後のクラブを描こうとするチャレンジングで近未来志向な目標であります。第六～第九は省かせて頂きますが、第十に「各種集会の基本的考え方」で公式訪問は原則、条件付きでの各クラブ入りを表明されておられます。

私は、第二グループ5クラブの会長・幹事・会員の皆様のご協力を仰ぎまして、ガバナーとのパイプ役の任を果たすべく努めてまいりたいと思います。

石田年度の第二グループにおいて、実りある楽しい集いのクラブ運営に少々関わらせて頂ければ幸いに思います。

現下の情勢では、未だに直面コミュニケーションが制限される一年となるやもしれませんが、第二グループ会員諸兄には「未来のクラブを描けるよう」ご指導、ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

最後にシェカール・メータ会長の宣誓を以下に記します。

「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」

第3グループA・Bガバナー補佐就任あいさつ



第3グループA ガバナー補佐 坂 寄 修 一

(宇都宮西ロータリークラブ)

宇都宮ロータリークラブ
宇都宮西ロータリークラブ
宇都宮北ロータリークラブ
宇都宮90ロータリークラブ
宇都宮陽北ロータリークラブ

この度、第3グループAのガバナー補佐を拝命いたしました、宇都宮西ロータリークラブの坂寄修一です。皆様のご指導とご協力を賜り、石田ガバナーを補佐するとともに、自己研鑽を積みながら、1年間務めさせていただく所存ですのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年度石田ガバナーは、「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」のテーマのもとに、「未来のクラブを描きましょう」と6つの地区方針と10の地区目標を掲げられました。

地区方針は今年度のバックボーンとなる基本的なガバナーの考えです。

その地区方針から具体的な10の地区目標が出てきています。是非各クラブがその10の目標に対してクラブの実情に沿っ

た中で、真剣に取り組み一つでも多くの目標を達成されますことを願います。

石田ガバナーの思いを各クラブの皆様にお伝えをし、ご理解いただき、各クラブが充実したロータリー活動をされる一助になればと考えております。

また各クラブへのガバナー公式訪問は、ガバナーと各クラブの会員の皆様が直に本年度のRIや地区の考えを共有できる重要な機会となります。スムーズにガバナー公式訪問が開催されるようガバナー補佐として努力してまいりたいと思います。

そして年間を通して各クラブの皆様のお話を真摯にお聞きすることで、共に手を携えながら各クラブの運営が円滑に進められるよう務めていきたいと思っております。

昨年よりコロナ禍で、例会はもとより各クラブの独自の親睦活動やさまざまな奉仕活動が、中止や縮小といった影響を受けている現状であります。

しかし今を見すえ、今後のロータリー活動の道標となる新たな形の第一歩を踏み出す大いなる機会だと思っております。

微力ではありますが、この1年間ガバナーと各クラブのパイプ役として責務を全うしたいと思います。

地区と第3グループAの皆様が有意義な年間となれますよう皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



第3グループB ガバナー補佐 渡 邊 有 規

(宇都宮東ロータリークラブ)

宇都宮東ロータリークラブ
宇都宮南ロータリークラブ
宇都宮陽東ロータリークラブ
宇都宮陽南ロータリークラブ
宇都宮さつきロータリークラブ

シェカール・メータ2021~22年度RI会長の講話をオンラインやDVDで何度も拝見をさせていただきました。

何度も拝見し、読ませていただくたびに、私は胸が熱くなる思いです。

奉仕とリーダーシップの新しい旅路、人生で最も素晴らしい実りある期間を皆さんと共に大きなロータリーのビジョンに導かれながら大きな夢に向かってゆく時、今がその時だと、シェカール・メータ会長は、話されています。

そして「超私の奉仕」という標語に大きな感銘を受けられたと聞きました。奉仕とは自分よりもほかの人のことを先に考えること、そして、ロータリアンが奉仕をし続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願ひであると説きます。

また、本年度第2550地区石田順一ガバナーは、メータ会長の言葉から、「人びとのために奉仕をする最良な生き方が、その経験を通して自分の人生を豊かに出来る」とお話しされております。

皆様も私達も、各地域で、各クラブで、多くの奉仕活動の中に、多くの人びとの幸せをひとつずつでも実現すべく、今も頑張っておられることと思っております。

私も新たに本年度の石田年度ガバナー補佐として、クラブと地区をつなぐサポート役として、また、クラブと石田ガバナーをつなぐサポート役として、担当させて頂き戴きます。この一年、担当グループクラブの方々と深い交流を通じて、その充実したロータリアン活動の「目標の達成を目指す」お手伝いが、少しで

もできますれば、ありがたいと存じます。

そのためにも、皆様とのお打ち合わせの中に私のやるべき責務は、

- (1) 担当グループのクラブ会長の立てる目標の設定にお手伝いをさせていただきます、
- (2) クラブを時折訪問し、奉仕プロジェクトの進捗状況を、確認させて頂き戴きます。
- (3) 地区の会合に多くのクラブ会員に参加を願うよう働きかけをさせていただきます、
- (4) また、ガバナーの公式訪問の計画援助をさせていただきます。
- (5) My Rotaryへの登録もしっかりと確実に実行いただきます。

担当させていただきますクラブの皆様が、明るく元気で、楽しみに溢れたクラブであることを願って、石田順一ガバナーの想いを、クラブの皆様にお届けさせていただくことが、私の石田年度ガバナー補佐の役割と責任です。

今、私達は、新型コロナウイルスという大きな問題を日本はおろか世界全体で抱え込んでいます。各クラブの皆様も本当に大変なことと思っております。

この大変な時に大きな役割をいただきましたことも、この活動の経験を通して、メータRI会長、石田ガバナーのお話の通り、多くの奉仕の中に多くの人びとの幸せと、それと同時に、経験という自分の成長をいただく有り難い選ばれた時であったと、感謝致します。

その感謝を自分と共に担当グループクラブ会長、幹事、役員理事、会員方々と共有して、感動と喜びの1年間を御一緒にいただき、本年度は大きな前進変革挑戦をしてゆく覚悟が必要と思っております。

『~未来のクラブを描きましょう~』という石田年度の大きなテーマの元、今だからこそ描ける真っ新たな未来に、ロータリークラブのあり方、あり様を皆様と共に考えて行きたいと思っております。

皆様とお会いさせていただきますことが、楽しみです。

1年間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第4・第5グループガバナー補佐就任あいさつ



第4グループガバナー補佐
高山 忠 則
(しもつけロータリークラブ)

真岡ロータリークラブ
益子ロータリークラブ
真岡西ロータリークラブ
しもつけロータリークラブ

2021-2022年度石田順一ガバナーのもと、第4グループガバナー補佐を務めさせていただきます、しもつけロータリークラブの高山忠則です。

昨年1月ごろから新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し世の中の生活スタイルが大きく変わり、その様な状況下で石田順一ガバナー参加の今年度国際協議会が2021年2月アメリカフロリダ州オーランドで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染が拡大しオンラインで行なわれました。

2021-2022RI会長シェカール・メータ氏「インド(西ベンガル州)」です。今年度のRI会長は、「超我の奉仕」を基に『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』を本年度のテーマと発表しました。奉仕にはロータリアンのDNAがある、他の人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」と講演しました。

シェカール・メータRI会長は2021～2022年度に少なくとも1回、実践的かつ行動志向にロータリー奉仕デーのイベントを計画・開催していただくよう、すべてのクラブにお願いしました。

ロータリーは、現在非常に大きな変革の時を迎えています。その大きな変革の焦点となる事柄は次の通りです。

(1)ロータリー未来形成: Shaping Rotary Future(SRF)

ロータリー地区化計画。世界を20-40の地域(リージョン)に分割。

(2)DEI: Diversity, Equity and Inclusion(多様性、公平性、開放性)

組織の戦略的運営計画

このことは、私たちロータリアン・ロータリークラブもそれ程触れていませんでした。

社会におけるDEI(多様性・公平性・開放性)とはなにか?

人材の多様性として、出身地、能力、宗教、性的志向、性同一性などに拘わらず、様々なバックグラウンドや多くの人々に力を発揮してもらうような制度・環境整備いわゆる企業の戦略計画である。

DEI承認後のRIの方針はGender Equityを含む多様性を理解し、多くの違いを受け入れる体制を確保する。(違いを除外しない組織づくり)をより鮮明にした。Inclusionを(開放性)とし、全ての多様な事柄を受け入れ、より多くの人材の能力を最大限に引き上げる組織運営をする。

今後は私たちロータリアン・ロータリークラブが変化に対応し、今年度の新型コロナウイルス感染の中で今年度のテーマ「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」を実施して行きましょう、一年間よろしくお願い致します。



第5グループガバナー補佐
小浦 正 久
(小山ロータリークラブ)

小山ロータリークラブ
小山南ロータリークラブ
小山東ロータリークラブ
小山北ロータリークラブ
小山中央ロータリークラブ

この度、第5グループのガバナー補佐を拝命いたしました、小山ロータリークラブの小浦正久でございます。

今だ終息が見込めない新型コロナウイルスの感染リスクがあるなか、どのようにして感染リスクを抑えて、ロータリーの活動、事業、行事を行っていくかを考えながらの1年間となるかと思えます。

メンバーのなかにも、「緊急事態宣言」等の影響で厳しい経営環境となっている方も多々いらっしゃると思います。そのようななかでこそ、ロータリーで培ったリーダーシップを発揮して、この難局を乗り越えることを願っております。

2021-2022年度RI会長シェカール・メータ氏は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を今年度の会長方針としました。

会長のメッセージのなかに、ガンディーが列車に乗ろうとした時に、片方のスリッパを線路に落としてしまいました。その後もう片方のスリッパを落としたところになげたそうです。友人が「なぜ」と尋ねると「あのスリッパを誰かが見つけた時、片方だけでは役に立たないだろう。」と答えたそうです。これも「奉仕だ」と会長は言っております。奉仕には、いろいろなかたちがあり、すべて「他人の為に」との行動が奉仕と言うことではないかと思えます。

2021-2022年度は、「貧困な子供たち」への奉仕を、すでに行っているクラブもありますが第5グループとして行えればと思っています。

食えることが大変な子供もいます。通学する意思も能力もあるのに断念する子供もいます。このような子供たちが将来「普通の大人」になって国民の義務である納税ができるようになる為の支援が必要ではないでしょうか。

「ポリオ撲滅」・「米山記念奨学会」などの奉仕活動を永年行ってきましたが、そろそろ国内にも目を向けても良いのではないのでしょうか。

2021-2022年度よろしくお願いいたします。

第6・第7グループガバナー補佐就任あいさつ



第6グループガバナー補佐

片柳 均

(栃木南ロータリークラブ)

栃木ロータリークラブ
栃木西ロータリークラブ
岩舟ロータリークラブ
壬生ロータリークラブ
栃木南ロータリークラブ

この度2021-2022年の石田順一ガバナー年度第6グループのガバナー補佐を拝命致しました栃木南ロータリークラブの片柳 均です。皆様のお力添えを頂きながら、石田順一ガバナーと第6グループ5クラブの皆様とを結ぶパイプ役として務めて行きたいと考えております。

2021-22年度のシェカール・メータRI会長のテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)とされました。“持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクトの参加意欲を引き出して”人々のために奉仕し、その人生を豊かにするための援助とし、Change Lives(みんなの人生を豊かにする)となります。“奉仕するとき誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。”と解釈しています。

そして、石田順一ガバナーは、“困難から回復していくために、beforeコロナを懐かしみ目指すことなく、われわれが漠然と5年後、10年後にこうなるとする未来の社会を、ロータリーの揺るぎない中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)を据えながら、今ここに実現させる努力が必要です。ロータリーは、さまざまな人が参加できる開放的な組織、すべての人に公平で善意を築き、社会に役立つ組織づくりに努めなくてはなりません。”とされ、メッセージを「未来のクラブを描きましょう」(Let's draw the future of the

club~)としました。地区方針6項目の下、目標が10項目挙げられております。それら一つひとつをクラブの皆様と考えながら精進したいと考えます。

ロータリーはとても大きな変革の時を迎えていると言われています。「ロータリーの未来形成」や「多様性、公平さ、開放性(D・E・I)」に関する声明など新しいロータリーを組上げて行こうとしています。それらに対して、10項目の目標の中に、IT活用の推進があります。「My Rotaryへの登録推進」「ロータリークラブセントラルへの全クラブ登録を促進」と具体的な目標です。ここにはそれぞれを活用する事で、様々なクラブ運営の機動力になると考えます。My Rotaryにはクラブデータ管理システムを更新していく事で、クラブ内活動や会員の情報を求めることが出来ます。さらにクラブの目標とかその都度の進捗状況を知ることができ、クラブの健康チェックや、会員満足度アンケートを利用して出席率の向上にも働きかけることが出来るとも考えます。ロータリーの変革に対応するためにも新しいIT部門の活用を推進しましょう。

さらにタイ国3350地区からのグローバル補助金申請や、栃木RCで進めてきたローターアクトクラブの承認について継続事業になっております。

四つのテストで言われるように、“Four-Way Test”にはなく単数形です。これが単数形なのは事業を繁栄に導くためには、四通りの基準を一つずつクリアすればいいのではなく、四つまとめたものを一つの基準として、その全てをクリアしなければならぬ事を意味するといわれます。石田順一ガバナーの地区方針と目標をまとめることで「未来のクラブを描きましょう」と考えます。今年一年間石田順一ガバナー年度が素晴らしい年になりますよう、皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第7グループガバナー補佐

野本 晃也

(日光ロータリークラブ)

日光ロータリークラブ
鹿沼ロータリークラブ
今市ロータリークラブ
鹿沼東ロータリークラブ
鹿沼中央ロータリークラブ
今市きぬロータリークラブ

本年第7グループガバナー補佐として就任致しました、日光ロータリークラブの野本晃也です。どうぞよろしくお願い致します。

本年度RI会長シェカール・メータ氏のテーマは「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」であります。ロータリアンが奉仕続けるのは人々の人生を豊かにしたいという願いからです。また会員増強も求められています。

過去17年以上120万人で横ばい。2023年までに130万人にしたい「みな一人を入会させよう」は全会員がロータリーに、ひと一人を入会させることを求めています。会員を増やして

ロータリーの参加者基盤を広げることでロータリーが成長するのですとも提言されました。

RI会長のテーマをふまえて、地区ガバナー石田順一氏のテーマは「未来のクラブを描きましょう」であります。コロナ後のまず5年後の各クラブがどのようなクラブになりたいか自問して下さいと提言されました。

私も自分のクラブの5年後を考えてみますと今のままでは多分発展もなく、沈没してしまうだろうと思います。平均年齢66.48歳、会員数21名のうち40歳以下0人、実働できる会員も限られ限界集落同様の状態です。この状況を打破する為にも毎年、会員増強を試みたものの全く変化なしです。会員が少ない事は、活動も出来ず高齢化でスマホがあってもSNS、ラインが出来ない従って外部に発信出来ない。地区ガバナーの目標とするテーマが全て当日光クラブに必要な急務なものとなり、まずは、足元から始めたいと思います。

ともあれ他にも提言されていますが、私は他の6クラブにも会員増強を主に主張し、この一年補佐役として訪問して役目を微力ながらも果たしたいと思っています。何か至らぬところもあると思いますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

第8・第9グループガバナー補佐就任あいさつ



第8グループガバナー補佐

五十嵐 章

(足利東ロータリークラブ)

足利ロータリークラブ
足利東ロータリークラブ
足利西ロータリークラブ
足利わたらせロータリークラブ

2021-22年度国際ロータリー第2550地区第8グループガバナー補佐に任命されました、足利東ロータリークラブの五十嵐 章と申します。ガバナー補佐は、①クラブの定期的な訪問(四半期に一度)、②会員の声を聞き、情報やアドバイスを提供しクラブを成功に導くこと、③「元気なクラブづくりのために:クラブ・リーダーシップ・プラン」で推奨されているベストプラクティスを推進し、実行する上でクラブリーダーを支援すること、④クラブの現状をガバナーに報告をすること、⑤ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を手伝うこと、⑥クラブの目標達成度を随時確認すること、以上、クラブと地区を結びつける重要な役割を担います。ハードルは高くなりますが、私自身の挑戦でもあります。

2021-22RI会長シェカール・メータ氏は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というRIテーマを掲げました。そして、石田 順一ガバナーは、「未来のクラブを描きましょう」という地区テーマのもと、6つの地区方針を、10の地区目標を掲げました。各クラブがガバナーの掲げられた地区目標を達成するために、クラブリーダーをはじめ、グループ内会員の皆様と共に1年間を共に活動する所存でございます。

一つ目の目標、「参加者の基盤を広げましょう」では、会員増強純増2名を目指すと共に退会防止にも努めます。第8グループには、4つのロータリークラブ、1つのローターアクトクラブがありますが、それぞれ、会員増強には苦戦しております。退会を希望される方には、理由により、移籍等も考える必要があるかもしれません。既に退会された方の再入会も推奨したいと思っております。

そして、会員基盤を広げるために、新規ローターアクトクラブの提唱、新規インターアクトクラブの提唱を、各クラブのリーダーと共に、未来のロータリアンを育成することも、考えたいと思います。インターアクター・青少年交換学生及びRYLA参加者から、ローターアクターへ、そしてロータリアンへの流れを作ることも考えていきたいです。

加えて、現存会員のロータリーへの関心を深めるためRLIへの参加、My Rotaryの登録を推進します。

二つ目の目標、「IT活用の推進」、ロータリーは、過去約20年間、唱っておりましたが、昨年来のCOVID-19パンデミックのもと、ITの必要性を痛切に感じております。上記、「My Rotary」へ登録するだけでなく、活用することを各クラブリーダーと共に推進します。「ラーニングセンター」の活用、「ロータリー・ボイス」の閲覧で、よりロータリーへの関心が深まります。

10番目の目標、「各種集会の基本的な考え方」とも重なりますが、合同例会(IM)を含めた例会、理事会、炉辺会合等も、オンライン、及びオンライン併用も各クラブのリーダーと共に考えます。海外の方を含めた他クラブの来訪者を招待することも簡単になり、また、自分自身も他クラブの例会に参加しやすくなります。RLIも、オンラインでの開催をガバナー、及び地区委員会にお願いしたいです。

3番目、「公共イメージの向上」では、「ロータリー奉仕デー」への参加を推奨します。どのような奉仕をするかについて、各クラブリーダーと検討をします。また、SNSや、ホームページ、その他のメディアを活用し、ロータリーの活動を紹介したいと考えております。

4番目「クラブ戦略計画の策定を推奨する」。まず、各クラブ、棚卸しをし、自クラブの現状を把握し、それから、クラブフォーラムを開催し、5年後、どのようなクラブになりたいかを検討していただきます。そして、5番目の目標「行動計画・ビジョン声明の策定の推奨」、クラブの目標を達成するための会員一丸の行動計画を策定することを推奨します。そして、9番目の目標である「RI会長賞受賞への挑戦への推奨」では、各クラブリーダーが「クラブセントラル」を活用し、目標達成のための進捗状況を随時確認をします。

6番目の「ロータリー財団の活用と支援」では、各クラブが目標額を達成するために財団基金がどのように活用されているかを理解していただくことが必要です。各クラブの例会プログラムで有識者の卓話を取り入れ、理解を推進することを支援します。そして、各クラブが財団基金を活用し、地域社会、世界に貢献することを推奨します。

7番目「ポリオ根絶活動の推進」では、いち早く、ポリオを根絶し、次は、そのノウハウを利用して、COVID-19を根絶させることに目を向ける必要があります。

最後に8番目の目標「米山奨学会の支援」、各学生との交流を計り、国際交流、国際理解を、学生及び会員が相互に恩恵を受けられることを理解していただきます。

長々となりましたが、COVID-19パンデミックのもと、例会、奉仕活動も制限を受けますが、ガバナーをはじめ、地区委員の皆様、1年間ご指導よろしく申し上げます。そして、第8グループ各クラブのリーダーの皆様、各会員の皆様、クラブの成功、目標達成のために、一緒に頑張りましょう。



第9グループガバナー補佐

三好 仁

(佐野ロータリークラブ)

佐野ロータリークラブ
葛生ロータリークラブ
田沼ロータリークラブ
佐野東ロータリークラブ

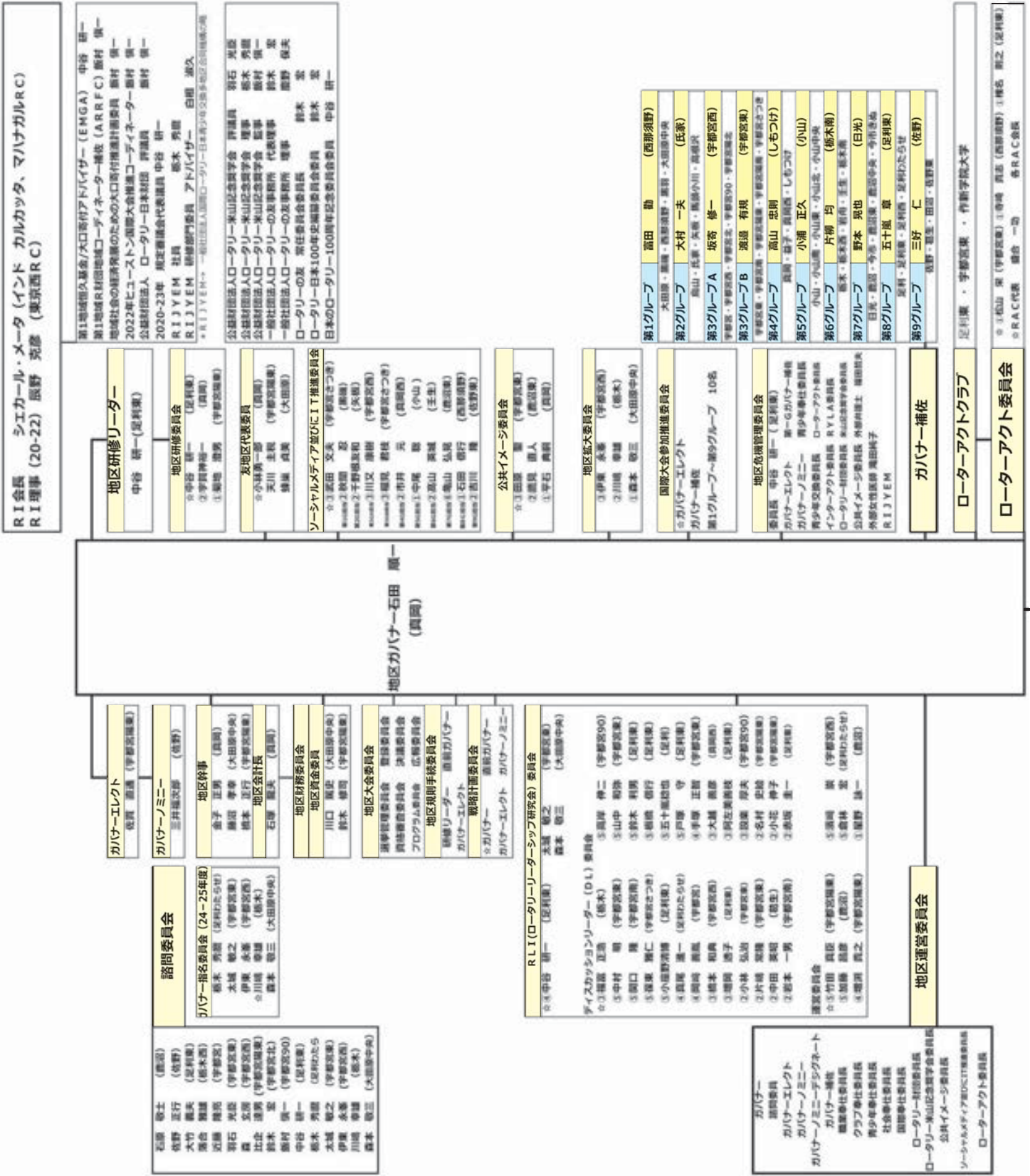
この度、石田ガバナー年度において、第9グループのガバナー補佐を仰せつかりました佐野ロータリークラブの三好仁です。今年度の石田ガバナーの施策が、第9グループ4クラブに徹底され、各ロータリー活動が年度を通じて円滑になされますよう、微力ですが勤めてまいりますので、よろしくお

願い申し上げます。

メータRI会長は、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のテーマの実現の為、実際にいろいろな奉仕を実行することで、奉仕する事の素晴らしさを体験し、奉仕に目覚めた既存会員を増やすこと。更に奉仕活動の輪を広げその力を高めるために、世界規模での会員増強を図ろうとされています。

そしてそれを受けて、わが石田ガバナーは、本来の奉仕団体としての自クラブを見つめ5年後のクラブを描きましょうと方針を出されました。クラブの道筋を作る事は、本当に素晴らしい事だと思います。

私は、この方針を受けて各クラブが自クラブの現状に合わせて魅力あるクラブ作りに向けて邁進できるように、ガバナーに協力していきたいと思っております。



職業奉仕部門 カウンセラー ③伊東 永暲 (宇都宮西)	クラブ奉仕部門 カウンセラー ①森本 敬三 (大田原中央)	青少年奉仕部門 カウンセラー ①川崎 幸雄 (栃木)	社会奉仕部門 カウンセラー ①太城 敏之 (宇都宮東)	国際奉仕部門 カウンセラー ①飯村 慎一 (宇都宮90)	ロータリー-米山記念奨学会部門 カウンセラー ①橋本 秀雄 (足利わたらせ)
職業奉仕委員会 ☆①瀧野 公男 (小山南) ③金子 博明 (今市きぬ) ③片柳 均 (栃木南) ②永島 正志 (佐野) ②田中 正夫 (宇都宮南) ①関 克美 (小山東) ①富樫 文隆 (宇都宮西)	クラブ奉仕委員会 ☆②橋本 徳雄 (栃木南) ロータリー-情報委員会 ☆②田尻 健司 (真岡西) ③萩原 新也 (益子) ①関口 隆 (宇都宮南) 会員組織委員会 ☆③内山 浩志 (宇都宮南南) ③田村 浩次 (真岡) ③澤田 吉夫 (黒磯) ③櫻井 恵二 (矢板) ②野澤 治利 (足利) クラブ併合プログラム委員会 ☆②五十嵐悠也 (足利) ③金子 剛 (宇都宮東) ②美野輪弘之 (鹿沼東) ①倉林 敬 (足利わたらせ)	青少年奉仕委員会 ☆④二十二 修 (宇都宮北) 青少年交換委員会 ☆④岩崎正日登 (宇都宮北) ⑨尾崎 弘明 (小山南) ⑦地廣 和雄 (足利東) ⑥山崎 悦夫 (田沼) ⑤小井沼幹生 (栃木) ⑤江口 亜子 (宇都宮南南) ④熊本 勇治 (宇都宮) ③殿塚 光江 (鹿沼東) ①兵藤 勇 (佐野) RYLA (ロータリー-青少年 指導者養成プログラム) 委員会 ☆②藤田 京彦 (宇都宮北) ④旭野 好紀 (宇都宮南) ③新井 敏之 (足利わたらせ) ③大橋 義弘 (宇都宮北) ②山下 大介 (宇都宮東) ②青島由加利 (宇都宮南南) ②鎌崎 啓子 (宇都宮90) ①中山 晴之 (宇都宮東) インターアクト委員会 ☆①藤島 拓 (宇都宮南) ☆④田村 晃 (宇都宮北) ④平塚 健二 (足利東) ②清水 秀修 (宇都宮東) ②磯貝 本 (宇都宮南) ④永井 宏樹 (宇都宮) ①小島 克之 (宇都宮)	社会奉仕委員会 ☆③青山 敬朗 (佐野) ☆③渡邊 有規 (宇都宮東) ⑤松嶋 武代 (栃木西) ④秋本 薫 (宇都宮) ③西海 栄一 (氏家) ③上野 初雄 (宇都宮東) ①日向野晴弘 (鹿沼) ①原田 篤 (鹿沼東)	国際奉仕委員会 ☆③川崎 健市 (壬生) ☆①轟林 隆亮 (宇都宮) ③小畑野清博 (足利東) ③藤生 浩真 (足利) ②大矢 裕啓 (宇都宮) ①相谷 明弘 (宇都宮90) ①芝口 久雄 (佐野東)	ロータリー-米山記念奨学会委員会 ☆④長 正英 (宇都宮北北) 学友委員会 ☆④小林 正明 (宇都宮東) ⑤児玉 博利 (宇都宮さつき) ②杉田貞一郎 (真岡) 資金推進委員会 ☆③小原澤公康 (足利わたらせ) ④坂寄 修一 (宇都宮西) ③渡邊 薫一 (栃木) 選考委員会 ☆⑤田島 良久 (鹿沼小川) ③渡邊 将宏 (西那須野) ③瀧井 誠 (宇都宮)
職業奉仕委員会 ☆④黒須 祐作 (宇都宮西) ①星野 仁 (西那須野) ①島中 展一 (小山南) 財団監査委員会 ☆②川村 新文 (宇都宮西) ②安田 博 (鹿沼東) ②茂木 弘司 (佐野)	ロータリー-財団委員会 ☆①森本 敬三 (大田原中央) 補助金委員会 ☆④熊倉 宇 (宇都宮北北) ⑤若永 喜博 (鹿沼小川) ④近藤 隆彦 (足利西) ③戸塚 守 (足利東) ②谷田部 修 (宇都宮東) ②相田 朝美 (宇都宮90) ①毛塚 武久 (宇都宮) 資金推進並びに恒久基金/ 大口寄付推進委員会 ☆④坂谷川 亨 (栃木南) ②辻 裕司 (宇都宮東) ①和気 勝利 (黒磯)	財務管理委員会 ☆④森田 佳佳 (宇都宮西) ①高野 藤房 (宇都宮東) 平和フエロー・奨学会委員会 ☆③赤坂 圭一 (足利東) ④鈴木 徳郎 (宇都宮西) ③三ツ山一明 (日光) 国際交流並びに 職業研修チーム(VTT)委員会 ☆④黒須 祐作 (宇都宮西) ①星野 仁 (西那須野) ①島中 展一 (小山南) ホリオオラス並びに資金推進委員会 ☆②村井 邦彦 (宇都宮西) ③若菜 秀夫 (栃木西) ②上野 法忍 (小山東)			

☆委員会委員長
 ★委員会副委員長
 ○数字
 委員会所属年数

2021-2022年度 国際ロータリークラブ2550 地区

(I)地区資金予算書 (II)基金・協力金予算書 (III)危機管理等特定基金

I 地区資金予算書

収入の部 ★新設のもの 基準会員数 1,750名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
地区資金受入	14,350,000	ロータリアン: 8,200円 × 1,750名
雑収入	500	
当年度収入合計	14,350,500	前年度実績より
前年度繰越金	13,069,384	前年度中間決算の繰越金です。 前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	27,419,884	

支出の部

科 目	金 額	備 考
<委員会活動費>		
地区研修委員会	30,000	会議費・研修会費
公共イメージ委員会	30,000	〃
クラブ奉仕委員会	80,000	〃
職業奉仕委員会	30,000	〃
社会奉仕委員会	30,000	〃
国際奉仕委員会	30,000	〃
青少年奉仕委員会	100,000	〃
ロータリー財団委員会	250,000	〃
米山記念奨学会委員会	100,000	〃
★ローターアクト委員会 注①	400,000	〃
ロータリーの友委員会	30,000	〃
国際大会参加推進委員会	10,000	〃
地区運営委員会	250,000	〃
諮問委員会	300,000	〃
指名委員会	10,000	〃
地区会合	500,000	〃
ソーシャルメディア委員会活動費	175,000	〃, ホームページ管理料
ガバナー補佐会議費	120,000	〃
R L I 委員会	450,000	会場費、資料代
戦略計画委員会	30,000	会議費
小 計	2,955,000	

科 目	金 額	備 考
<補助金>		
地区大会	750,000	
地区研修・協議会	1,300,000	
次期地区委員研修会	700,000	
次期会長研修会	1,000,000	
I M	500,000	50,000 × 10 グループ
会長、幹事会	200,000	
ガバナーエレクト国際協議会旅費	1,100,000	
ガバナー補佐活動費	1,200,000	25,000円 × 48 R C
親善活動費	400,000	
拡大・増強活動費	400,000	新クラブ、インターアクト、ローターアクト
広報活動費	150,000	
小 計	7,700,000	
<納付金その他>		
ロータリー文庫運営費	525,000	1名300円の割(上期150円 下期150円)
全国ガバナー会費	376,250	1名215円の割(上期100円 下期115円)
R I J Y E M維持協力金 注②	350,000	1名200円の割(上期100円 下期100円)
R I J Y E M賠償責任保険料	200,000	I A、R A、R Y L A、賠償責任保険料
ロータリー研究会分担金	750,000	
旅 費	500,000	
登 録 料	600,000	
監 査 費	40,000	
年次報告書作成費	200,000	
雑 費	144,250	
小 計	3,685,500	
<予 備 費>		
当年度支出合計	14,350,500	前年度中間決算の繰越金です。 前年度決算の繰越金に置き換わります。
次年度繰越金	13,069,384	
合 計	27,419,884	

注①ローターアクト委員会が新設されました。

注②R I J Y E Mとは、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構の略。

II 基金・協力金予算書

収入の部 基準会員数 1,750名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信購読料	3,500,000	1人当たり金額 2,000円 × 1,750名
地区大会分担金	17,500,000	〃 10,000円 × 1,750名
ガバナー事務所協力金	9,887,500	〃 5,650円 × 1,750名
ガバナーエレクト協力金	875,000	〃 500円 × 1,750名
青少年奉仕基金	9,975,000	〃 5,700円 × 1,750名
ロータリー財団学友基金	87,500	〃 50円 × 1,750名
★規定審議会協力金	875,000	〃 500円 × 1,750名
当年度収入合計	42,700,000	〃 24,400円 × 1,750名
前年度繰越金	29,840,460	前年度中間決算の繰越金です。 前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	72,540,460	

支出の部

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信購読料	3,500,000	
地区大会分担金	17,500,000	
ガバナー事務所協力金	9,887,500	
ガバナーエレクト協力金	875,000	
青少年奉仕基金(注③注④)	9,975,000	青少年交換、I A C、R Y L A
ロータリー財団学友基金	87,500	
★規定審議会協力金(注⑤)	875,000	3年毎にシカゴで規定審議会が開催
当年度支出合計	42,700,000	
次年度繰越金	29,840,460	前年度中間決算の繰越金です。 前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	72,540,460	

注③: 青少年奉仕基金の中には、次の青少年交換受入クラブへの助成金が含まれています。 1年交換助成金 5名 × 800,000円 = 4,000,000円

注④: ローターアクトクラブが当年度より自主運営となり、研修会等助成金約50万円が削減されます。

注⑤: 当年度は3年毎にシカゴで開催される規定審議会参加の為の渡航費となります。

森本年度 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,100円 + 基金・協力金 24,200円 = 32,300円

森本年度 コロナ対応変更後 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,100円 + 基金・協力金 14,900円 = 23,000円

石田年度 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,200円 + 基金・協力金 24,400円 = 32,600円

III 危機管理等特定基金

危機管理等特定基金とは、青少年交換・VTT等に於ける不慮の事故及び震災・地区事務所移設・地区資金が不足した場合の基金です。

収入の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
前年度より	20,017,088	定期預金
雑収入	1,000	利息
合 計	20,018,088	

支出の部

科 目	金 額	備 考
次年度繰越金	20,018,088	
合 計	20,018,088	

2021-2022年度 送金カレンダー

(単位：円)

区分 No.	内 容	会 員 一人当りの会費			新入会員		1 件 の 金 額	記 事	送 金 先
		(前期) 7月1日	(後期) 1月1日	年度計	7/2~10/1	1/2~4/1			
		A1	人 頭 分 担 金	\$35.00	\$35.00	\$70.00			
A2	規 定 審 議 会	\$1.00		\$1.00				前期のみA1と共に送金	
A3	ザ・ロータリアン誌購読料	1,500				\$12.00		半期毎A1と共に送金	
A4	R I 文 献								
A5	ロータリー財団寄付								
A6	ロータリー財団クラブ寄付								
B1	米山記念奨学会付 普通	1,500 以上	1,500 以上	3,000 以上				増額の場合 年額500円単位	
B2	米山記念奨学会特別寄付							米山功労者個人 個人・クラブ寄付	
C1	ロータリーの友購読料	+ 1,200 + 消費税	+ 1,200 + 消費税	+ 2,400 + 消費税				(注)参照のこと	
C2	ロータリー手帳						600 + 消費税	送料別途	
C3	その他の出版物								
D1	地 区 資 金	4,100	4,100	8,200	2,050	2,050			
D2	ガバナー月信購読料	1,000	1,000	2,000	500	500			
D3	地区大会分担金	5,000	5,000	10,000	2,500	2,500			
D4	ガバナー事務所協力金	2,825	2,825	5,650	1,412	1,412			
D5	ガバナーエレクト協力金	250	250	500	125	125			
D6	青少年奉仕基金	1,700	1,700	3,400	850	850			
D7	ロータリー財団学友基金	25	25	50	13	13			
D8	2022年規定審議会協力金	250	250	500	125	125			
	D1～D8合計	15,150	15,150	30,300	7,575	7,575			
E1	地区研修・協議会登録料	ホストクラブから請求された金額							
E2	IM他会合登録料								
E3	PETS、会長幹事会、 各セミナー他登録料								

A1～A4 国際ロータリーへの振込（人頭分担金、比例人頭分担金（新会員分）、ザ・ロータリアン誌購読料、資料代）
・三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244 国際ロータリー日本事務局

A5～A6 ロータリー財団への寄付
・三井住友銀行 赤羽支店 普通預金 3978101 公益財団法人ロータリー日本財団
*必ず明細書（所定の用紙）をFAXすること。FAX 03-5439-0405 又は、kifu@rotary.org

B1～B2 公益財団法人 米山記念奨学会への寄付
・三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373 （財）ロータリー米山記念奨学会
*必ず明細書（所定の用紙）をFAXすること。FAX 03-3578-8281

C1～C3 ロータリーの友よりクラブ宛案内（注文部数）がきますので、その後処理してください。

D1～D8 地区資金は、前期分は7月に、後期分は1月に前期新入会員分を含めてクラブ宛ご請求しますので、お振込みをお願いします。後期新入会員分は、4月にご請求いたします。

地区会計長 石塚 龍夫

2021-2022年度 年度ガバナー公式訪問日程表

訪問日	曜日	訪問クラブ
7月15日	木	大田原中央
7月20日	火	今市きぬ
7月21日	水	佐野東
7月27日	火	葛生
7月28日	水	壬生
7月29日	木	日光
7月30日	金	小山東
8月 2日	月	宇都宮90 宇都宮さつき(夜)
8月 4日	水	小山北
8月 5日	木	宇都宮北 宇都宮陽南(夜)
8月 6日	金	足利
8月10日	火	烏山
8月12日	木	大田原
8月18日	水	鹿沼東
8月19日	木	氏家

訪問日	曜日	訪問クラブ
8月23日	月	佐野
8月31日	火	宇都宮東
9月 1日	水	栃木
9月 2日	木	足利わたらせ
9月 3日	金	黒羽
9月 6日	月	小山中央
9月 7日	火	西那須野
9月 8日	水	今市 高根沢(夜)
9月 9日	木	足利西(夜)
9月14日	火	小山南
9月15日	水	宇都宮陽東
9月16日	木	鹿沼
9月21日	月	栃木西 岩舟(夜)
9月22日	火	宇都宮南
9月28日	火	宇都宮

訪問日	曜日	訪問クラブ
9月29日	水	黒磯 馬頭小川(夜)
9月30日	木	小山
10月 1日	金	真岡西
10月 5日	火	宇都宮陽北
10月 6日	水	益子
10月 7日	木	田沼
10月12日	火	鹿沼中央
10月13日	水	しもつけ
10月14日	木	栃木南
10月19日	火	足利東
10月26日	火	矢板
11月11日	木	宇都宮西
11月25日	木	真岡(夜)

2021-22年度 ガバナー公式訪問について

★ガバナー補佐の出席と報告

- ①地区研修・協議会後のクラブ協議会
- ②公式訪問2週間前のクラブ協議会

その後速やかにクラブ協議会の報告(クラブの現状と課題、ニーズの把握、書式自由)をガバナー事務所宛メールにてご提出をお願いします。

★クラブが提出する書類

- ①クラブ活動計画の指標

PETSにて配布済みの「クラブ事前報告・質問事項」をクラブ会長が記入し、5月末日までに、グループ担当補佐に提出(メール可)。書式は地区ホームページ「書式のダウンロード」にも掲載しています。

ガバナー補佐は、グループ内をまとめて、メールで1部をガバナー事務所に提出してください。

- ②クラブ現況報告書

クラブ現況報告書は、公式訪問のためのものではなく、クラブの為の物ですので、年度初めに作成するようお願い致します。

報告書記載要項に準拠して作成の上、ガバナー公式訪問の3週間前までに、各クラブから直接ガバナー事務所へ2部、グループ担当ガバナー補佐へ1部送付して下さい。

(クラブ現況報告書の製本が間に合わない場合は、コピーで結構です)

★公式訪問日程と時間について

2週間前までに当日の打ち合わせをガバナー補佐と済ませて下さい。また会場等変更がある場合は、ガバナー事務所へご連絡願います。

＜公式訪問当日＞	会長・幹事懇談会	昼の部	11:00～12:00	夜の部	17:00～18:00
	例会出席	昼の部	12:30～13:30	夜の部	18:30～19:30
	オープンディスカッション	昼の部	13:30～14:30	夜の部	19:30～20:30

*会長・幹事懇談会には、基本的にクラブから会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクト、担当グループガバナー補佐のご出席をお願いいたします。なお、他に出席させたいメンバーがいれば事前にご連絡ください。(ガバナー随行の2名の会員も同席させていただきます。)

*通常の例会にて卓話を行います。尚、当日はRI会長のテーマをお聴き頂きたく、お願い致します。

*オープンディスカッションは、ガバナーと忌憚のないお話をする機会となりますので、お時間の許す方は是非ご参加下さい。

★備考

公式訪問は、華美な接待、お土産等のお心遣いは遠慮させていただきます。

当日は、基本2名が同行いたします。その際ビジターフィーを免除頂きたく宜しくお願い致します。

同行者名につきましてはその都度調整になる為、予めお知らせすることができません。

大変恐縮ですが、当日のご対応ということでお願いします。同行人数に変更がありましたら、クラブ幹事様宛にご連絡いたします。

地区内・外主要行事の予定表

開催日	行事	開催方式	場所	担当
7月4日(日)	第1回諮問委員会		宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
7月11日(日)	第1回地区運営委員会	Zoom開催		ガバナー事務所
7月18日(日)	クラブ米山委員長会議	会場及びZoom開催	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
8月1日(日)	22-23年度1年交換派遣学生選抜試験		宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
8月9日(月)	インターアクト年次大会	Zoom開催		黒磯高等学校IAC
8月24日(火)	第5回ゴルフ選手権大会		日光カンツリー倶楽部	
8月28日(土)29日(日)	22-23年度派遣学生 宿泊オリエンテーション		ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会

コーディネーターニュース



コーディネーター 2021年7月号 No.1
NEWS
 発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

2019-22年度第一地域RCの菅原裕典です。

いよいよ2021-22年度がスタートしました。各地区ガバナーの皆さん、クラブ会長はじめロータリアンの皆さん、今年もよろしくお祈りします。

昨年1年間は、ご承知の通り世界が「COVID-19」一色に染められたと言っても過言ではありませんが、様々な制約下にあっても、ロータリアンはクラブの運営と活動に最大限の取り組みをして、素晴らしい結果をもたらし、日本のロータリー100周年に相応しい年度だったと考えております。

さて、そうした中で今後更なる発展をしていくにあたっては、皆さんの地区、クラブの戦略計画は十分でしょうか？計画についてはガバナー、そしてクラブの会長が中心になり、それぞれの地区や地域に相応しい内容になっているものと拝察します。次は計画を如何に実行するかが肝要になります。取り組みには修正も必要です。その為には内部の方から定期的に意見を聞き、実行と同時に間断なく状況確認を行うことが大切です。また、外部の力を必要とするときには是非、我々地域コーディネーターをフルに活用してください。特に、戦略計画・会員増強についてはロータリーコーディネーター(RC)が数多くのアドバイスができるものと確信しています。とりわけ、今年度のシェカール・メタR会長は、会員増強にとっても積極的な姿勢です。我々も目標の数値を達成し、未来のロータリーに継続していきたいと強く願っています。

先日、ローターアクターの方とお話する機会がありました。私がローターアクトの会員の女性と男性の比率はと尋ねたところ、おひとりの方のクラブは5対5、もうお一人の方のクラブは6対4だとの事でした。「何故、ローターアクターは女性会員の比率が高いのですか？」とお聞きしましたら、「女性はボランティアをしたくて入会しており、男性は多くの友人を作り、交流をしたくて入会している」という返答でした。もちろん、男女共通の目的もあるでしょうし、多様性もあるかとは思いますが、しかし、この差異はある意味核心を突いているかもしれません。例えばこのような視点やヒントが身近に数多くあるにもかかわらず、そこに着目せず、結果、現状認識が不十分だという状況なのかもしれません。

また、ローターアクターの方々とロータリアンには若干の距離感が存在している場合があります。ロータリークラブでも今一度視点を変えて考えなければいけないこともあるかもしれません。時代の変化で価値観も変わりますし、地域の特性もあれば、会員構成の内容も異なります。今一度、現状認識を重視し、その年度や地域に相応しい地区・クラブ運営をしていこうではありませんか。

私たちRCは、第一地域・第二地域・第三地域の各地域にRC1名・ARC3名の4名体制で地域のお手伝いをさせていただきます。是非、直接ご連絡を頂き、協力をさせていただければ幸いです。

第一地域RC菅原裕典・ARC田中久夫・ARC福井敬悟・ARC石黒秀司

第二地域RC水野功・ARC神野重行・ARC松坂順一・ARC関邦則

第三地域RC滝澤功治・ARC中川基成・ARC庄司尚史・ARC安増俣夫

第1地域 ロータリーコーディネーター 菅原 裕典 (仙台泉RC)



コーディネーター 2021年7月号 No.2

NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

ロータリーのロゴの正しい使用方法を学んで下さい。

皆さんはロータリーのロゴという言葉を聞かれて、どのようなロゴを想像しますか？ブルーの文字でRotaryと書いて有り、隣に誇りのシンボルと呼んでいる歯車が黄色で描かれているロゴが頭に浮かんで来るでしょうか？

強固なブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティが欠かせません。これは私達がロータリーのロゴを正しく使うことによって実現されます。統一感のあるブランドを世の中の人々に示し、ロータリーとローターアクトに対する人びとの認識と理解を高めるようにして下さい。ロゴの使い方の詳細は、My ROTARYにログインして、<ニュース&メディア>を選び、<ブランドリソースセンター>をご覧になることをお勧めします。ロゴの使い方はデザイナー、印刷屋さんなどロータリアン以外の人々にも解るように、ブランドリソースセンターへのアクセスは、brandcenter.rotary.org/ja-JP からも行えます。

先ず、ロゴはデザインであり一つの塊として使うものであると理解して頂くようお願いいたします。フォント、色使い、配置なども細かく規定されています。これらの取り扱いについてはデザイナー、印刷さんが良くご存知です。自分達でロゴを分解して使うことは厳禁です。時々、歯車のマークを分解したり、歯車の中心に番号を入れたりして使っているのを見かけます。これらは、やってはいけないことです。7月から新年度が始まります。慣れない委員の方々が良かれと思って、歯車の中にクラブ名や地区番号などを入れて使う事が有ります。注意してチェックをお願いします。

また、RIはクラブ、地区、ゾーンがロータリー公式ロゴを単体で使用することは認めていません。この事は多くの方が忘れていています。クラブ、地区、ゾーンでロータリーのロゴを使用する場合、ロータリー公式ロゴにクラブ名または地区番号、ゾーン番号を必ず入れるようにお願いします。複数の地区やゾーンの番号を入れることもできます。公式ロゴの上または下に、クラブ名、地区番号、ゾーン番号以外の言葉を入れることはできません。クラブ用、地区用、ゾーン用のロゴは、ブランドリソースセンターにあるテンプレートを使って作成できることを覚えておくと便利です。

協力団体、スポンサー、イベントとロゴと一緒に使いたい場合には組み合わせロゴが使用できます。組み合わせロゴを使う場合の規則もブランドリソースセンターで説明しています。

RLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）は、ロゴの中心に歯車のマークを入れていました。皆様方の中にも、RLIの全課程を履修して終了の証としてロゴパッチを贈られた方がおられると思います。RLIもRIから勧告を受けて、ロゴの中心を地球のマークに変更しています。

また、米山記念奨学会も、RIの規程に則りロゴの見直しを実施しています。

皆様方におかれても、新年度のスタートに当たり、地区やクラブで使われていたロゴの見直しをされることをお勧めします。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心RC）

お詫びと訂正のお願い

配布済の2021-22年度地区委員・クラブ会長・幹事/名簿を以下のとおり訂正いただきますようお願いいたします。

P7	第2グループ	大村一夫様	P48	太城敏之様	誤	ゴルフ選手権大会	顧問
	自宅 FAX	正 028-686-2197			正	ゴルフ選手権大会	会長
P7	第3グループ A	坂寄修一様	P48	石原敬士様	誤	ゴルフ選手権大会	会長
	会社名	誤 旭光電機(株) 正 旭光電気(株)			正	ゴルフ選手権大会	顧問
P48	野球大会会長	森 玄房様					
	自宅	誤 〒320-0043 宇都宮市桜4-5-2					
		正 森病院と同じ					

お詫び申し上げます。

クラブ例会場・事務所一覧

クラブ名	開催日	例会場	電話	事務所			
第1グループ	大田原	木曜日12:30	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105	ホテル花月	大田原市黒羽向町2
	黒磯	水曜日12:30	割烹石山	那須塩原市本町5-5	0287-62-0128	食健サロン糸糸塩梅	那須塩原市宮町2-8
	西那須野	火曜日12:30	いとう家	那須塩原市扇町7-12	0287-36-0028	いとう家	那須塩原市扇町7-12
	黒羽	金曜日12:30	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105	ホテル花月	大田原市黒羽向町2
	大田原中央	木曜日12:30	勝田屋記念会館	大田原市中田原2082-3	0287-23-4165	勝田屋記念会館	大田原市中田原2082-3
第2グループ	烏山	火曜日12:30	松月	那須烏山市中央2-1-14	0287-83-2035	烏山信用金庫 本店内	那須烏山市中央2-4-17
	氏家	木曜日12:30	ホテル清水荘	さくら市氏家2433	028-682-1122	ホテル清水荘	さくら市氏家2433
	矢板	火曜日12:30 or 18:00	矢板にぎわい館 ホールセピア	矢板市扇町1-1202-7	0287-48-7463	柿沼克廣様方	塩谷郡塩谷町田所936
	馬頭小川	水曜日第13 第24 12:30 18:30	ホテル美玉の湯	那須郡那珂川町小砂3102	0287-93-0811	ホテル美玉の湯	那須郡那珂川町小砂3102
	高根沢	水曜日12:30 18:30	東雲ゴルフクラブ	高根沢町亀梨630	028-676-2800	東雲ゴルフクラブ	高根沢町大字亀梨630
第3グループA	宇都宮	火曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111	宇都宮ロータリークラブ事務局	宇都宮市江野町1-12 栃木実業ビル2F
	宇都宮西	木曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111	濱田交通(株)内	宇都宮市東町38-2
	宇都宮北	木曜日12:30	宇都宮グランドホテル	宇都宮市西原町142	028-635-2111	宇都宮グランドホテル	宇都宮市西原町142
	宇都宮90	月曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12
	宇都宮陽北	火曜日12:30	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15
第3グループB	宇都宮東	火曜日12:30	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6
	宇都宮南	水曜日12:30	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6
	宇都宮陽東	水曜日12:30	宇都宮グランドホテル	宇都宮市西原町142	028-635-2111	宇都宮グランドホテル	宇都宮市西原町142
	宇都宮陽南	木曜日19:00	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6
	宇都宮さつき	月曜日19:00	コンセーレ	宇都宮市駒生1-1-6	028-624-1417	花亀内	宇都宮市築瀬町1-14-8
第4グループ	真岡	木曜日12:30	真岡商工会議所	真岡市荒町1203	0285-84-2511	真岡ロータリークラブ事務局	真岡市荒町1203 真岡商工会議所内
	益子	水曜日12:30	益子カントリー倶楽部	芳賀郡益子町上大羽2268	0285-72-1234	益子ロータリークラブ事務局	芳賀郡益子町益子1593
	真岡西	金曜日12:30	フォーシーズン静風	真岡市台町11-8	0285-82-3388	真岡西ロータリークラブ事務局	真岡市台町118 フォーシーズン静風内
	しもつけ	水曜日12:30	石橋商工会館	下野市石橋790-17	0285-53-0463	石橋商工会館	下野市石橋790-17
第5グループ	小山	木曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111	アルファクラブ(株)内	小山市栗宮1-13-32
	小山南	火曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111	栗原勉様方	小山市間々田1280
	小山東	金曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111	(株)嶋田工務店内	小山市大字外城176番地1
	小山北	水曜日12:30	和風ダイニング彩華	小山市天神町2-8-40	0285-22-2633	伊藤商事(株)内	小山市羽川486-2
	小山中央	月曜日12:30	侑思水荘	小山市城東1-18-8	0285-22-0011	(株)シスプラ内	小山市城山町2633 レインボウビル404
第6グループ	栃木	水曜日12:30	栃木グランドホテル	栃木市万町6-11	0282-22-1236	栃木グランドホテル	栃木市万町6-11
	栃木西	火曜日12:30	ホテルサンルート栃木	栃木市万町16-1	0282-24-5858	栃木西ロータリークラブ事務局	栃木市万町16-1 ホテルサンルート栃木内
	岩舟	火曜日18:30	岩舟町商工会館	栃木市岩舟町静5133-1	0282-55-4307	(有)あらい保険事務所内	栃木市岩舟町和泉1585-7
	壬生	水曜日12:30	星の宮カントリークラブ	下都賀郡壬生町壬生甲3705-1	0282-82-1128	(株)オアシスイッセイ同和損保(株)内	下野市下古山3193-5 1F
	栃木南	木曜日12:30	サンブラザ	栃木市片柳町2-2-2	0282-23-5711	サンブラザ内	栃木市片柳町2-2-2
第7グループ	日光	水曜日12:30	日光金谷ホテル	日光市上鉢石町1300	0288-54-0001	日光金谷ホテル内	日光市上鉢石町1300
	鹿沼	水曜日12:30	福田屋百貨店 3F	鹿沼市東末広町1073	0289-63-0011	エムシーシー(有)内	鹿沼市千渡1628-12
	今市	水曜日12:45	日光東照宮 晃陽苑	日光市瀬尾1640-14	0288-53-1150	大島順子様方	日光市大沢町128-1
	鹿沼東	水曜日12:30	鹿沼商工会議所	鹿沼市睦町287-16 鹿沼商工会議所3階	0289-62-2550	鹿沼商工会議所内	鹿沼市睦町287-16
	鹿沼中央	火曜日12:30	(株)八百半フードセンター	鹿沼市上田町2341	0289-64-7123	(有)開盛堂内	鹿沼市日吉町234
今市きぬ	火曜日12:30	山泉楼	日光市今市801-1	0288-22-4705	今市きぬロータリークラブ 村上朱実様方	日光市吉沢230-10	
第8グループ	足利	金曜日12:30	蓮岱館	足利市緑町2-3770	0284-21-6111	足利ロータリークラブ事務局	足利市田中町827 丸菱ビル 2F
	足利東	火曜日12:30	ニューミヤコホテル	足利市南町4254-1	0284-71-3333	足利東ロータリークラブ事務局	足利市有楽町835
	足利西	木曜日12:30	東葉館	足利市葉鹿町1981番地	0284-62-0136	足利西ロータリークラブ事務局 大妻賀子様方	足利市板倉町604
	足利わたらせ	水曜日12:30	ニューミヤコホテル	足利市南町4254-1	0284-71-3333	足利わたらせロータリークラブ	足利市助戸仲町804コアハウス102号
第9グループ	佐野	月曜日12:30	ホテルサンルート佐野	佐野市朝日町702	0283-24-5000	ホテルサンルート佐野	佐野市朝日町702
	葛生	火曜日12:30	(株)足利銀行葛生支店 2階	佐野市葛生東1-12-11	0283-85-4451	(株)足利銀行葛生支店 2階	佐野市葛生東1-12-11
	田沼	水曜日12:30	道の駅どまんなかたぬま	佐野市吉水町366-2	0283-61-0077	道の駅どまんなかたぬま内	佐野市吉水町366-2
	佐野東	水曜日12:30 第4 18:30	ホテルマリアージュ仙水	栃木県佐野市奈良沢町316	0283-21-4888	大和興産(株)内	佐野市久保町122-2

森本敬三 直前ガバナーへの謝辞

地区ガバナーとして1年間ご尽力いただきました、森本敬三直前ガバナーに心より御礼申し上げます。コロナ禍という過去経験をしたことのない状況下であって、積極的にデジタルを活用してのオンライン会議を推進され新たなロータリーの多様性や機会を与えて頂きました。そして「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します」のビジョン声明と共に、魅力ある元気なクラブがある地区として、これからも適応力を高め、中核的価値観に沿うロータリーへと変化して行くことでしょう。

今後は、直前ガバナーとして地区内ロータリアン並びにクラブ発展のために変わらぬご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げ、感謝の言葉とさせていただきます。

国際ロータリー第2550地区ガバナー

石田 順一



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>